

4月27日（月）開催

日本IPO実務検定協会 会員向けセミナー

～最近労務審査が緩くなった？証券会社は大規模上場を優先させている？... etc.～

IPO業界における“都市伝説”の真偽

&

～“基本”を怠れば上場審査上のリスクに～

行政指導を受けない労務管理

【プログラム】

(第一部) 時間 15:00～16:00

～最近労務審査が緩くなった？証券会社は大規模上場を優先させている？... etc.～

IPO業界における“都市伝説”の真偽

講師： みずほ証券株式会社 企業推進第四部 ディレクター

矢田部公伸 様

(第二部) 時間 16:10～17:10

～“基本”を怠れば上場審査上のリスクに～

行政指導を受けない労務管理

講師： 特定社会保険労務士 神田一樹 様

【ご案内】

このたび日本IPO実務検定協会では、弊協会会員の皆様向けに、上記の2本立てのセミナーを開催いたします。

第一部では、みずほ証券の矢田部公伸様をお招きし、最近IPO業界の係者や上場を目指す企業の間で“都市伝説”のごとく広まっている噂についてお話しいたします。一例として、近年上場社数が増加する中で「最近の上場審査では労務関連項目のチェックが甘くなった」というものや、「証券会社は大型上場を優先させるため、時価総額の小さい会社の上場審査を先送りしている」といったものがあります。本セミナーでは、IPO業界において長いキャリアと経験を持つ矢田部様に、こうした噂が広まった背景やその真偽に迫っていただきます。

第二部では、上場を目指す企業が上場審査の前に対応しておくべき労務について、特定社会保険労務士の神田一樹様に解説していただきます。上場を目指す企業が何としても避けたいのは、労働基準監督署から行政指導を受けることです。万が一重い処分を受けるようなことになれば、上場審査において大きなマイナス要因になるのはもちろん、場合によっては上場そのものが危うくなります。労務は非常に複雑で多岐に渡りますが、実はもっとも問題になりやすいのは、例えば三六協定など基本的な事項への対応です。本セミナーでは、中小企業の労務に詳しい神田様に、労働基準監督署の指導を回避する観点から絶対に押さえておかなければならないポイントを総ざらいしていただきます。

■ 開催日時：2015年4月27日（月）15:00～17:10（受付 14:30～）

■ 開催場所：株式会社 スリー・シー・コンサルティング 会議室

■ 定員：20名（定員になり次第締切）

■ 受講料：日本IPO実務検定協会会員の方は無料

※会員でない方は1万円（税込）

■ 申込方法：本案内状の3枚目に必要事項記載の上、FAXしてください（FAX番号：03-3971-3667）

■ 主 催：一般社団法人日本 IPO 実務検定協会

【講師略歴】

矢田部 公伸 様

みずほ証券株式会社 企業推進第四部 ディレクター。1986年日興証券（現SMB C日興証券）入社。神戸支店、本店営業部を経て公開引受部（現公開業務部）。JR 東海 IPO 時の公開引受部主担当を務めるなど公開引受業務の傍ら、日本証券業協会「JASDAQ 市場の在り方に関する研究会」、同「公開引受ワーキング」、ナスダックジャパン「IPO ワーキング」、金融審議会第2部会「保険相互会社の株式会社化に関する作業部会」などの委員等を多数歴任。1997年からの約8年間、各証券取引所・金融庁・日本証券業協会等の新規上場制度全般に関する日興側のカウンターパートナーを務めた。2005年7月日本駐車場開発（東1&JASDAQ：2353）入社。執行役員投資事業本部長としてベンチャー投資事業、IR 活動及び経営全般について実務経験を積むとともに、上場会社役員の立場から東証及びJASDAQ との関係をさらに深める。2007年7月みずほ証券入社。（社）日本 IPO 実務検定協会試験委員。TOKYO AIM 取引所 認定上級責任者（J-QE）。編著書：「初めて公開に携わる人の株式公開実務ガイド（初版～3 版）」（中央経済社）、「新規上場実務ガイド」（中央経済社）。共著：「IPO 実務検定試験公式テキスト（2～4 版）」（中央経済社）

-----  
神田一樹 様

1963年、埼玉県生まれ。1986年、早稲田大学教育学部卒。文具メーカー・玩具メーカー勤務の後、経営コンサルタント補助を経て、2001年、労務管理神田事務所・行政書士神田事務所を設立。主に、企業経営に関する法務相談業務に携わる。特定社会保険労務士・行政書士・1級販売士。著書に「実務に即した 人事トラブル防止の秘訣集」（税務経理協会）。

